

□京都府立図書館 令和3年度の重点取組事項

- 1 改築20周年事業の実施
- 2 他機関との連携強化、広報の充実
- 3 非来館型サービスの充実に向けた取組

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績 (12月末現在)	評価
1 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1 府内の各図書館とのネットワークの充実					
各図書館が所蔵する資料が一括して検索できるとともに、資料の相互貸借を行うことができるK-Libnetシステムの確実な運用を図ります	○定期的なSE作業や会議によるK-Libnetシステム等の確実な運用 ○K-Libnet参加図書館等の意見も聞きながら、より効果的な運用の検討			◆K-Libnet参加館 105機関 ▷府立、市町村26、歴彩館、議会、ライトハウス、大学12、高校50、特支12、センター ◆SE作業（週1回）、定例会（月1回）、課題管理システムを活用し、確実な運用体制を確保 ◆参加館とはK-Libnetのメッセージや掲示板機能を活用し、双方向の情報共有を実施	4
大学図書館が所蔵する図書を府立図書館と身近な市町村立図書館で、府立図書館・市町村立図書館が所蔵する図書を大学図書館で、閲覧することができる取組を推進します。	○K-Libnet参加大学との相互貸借の実施 ○K-Libnet参加大学増加に向けた取組			◆K-Libnet参加大学（12大学） ▷先端大、京大、京教大、福知山、佛大、医大、工芸繊維大、府大、ノ女大、橘大、外大、京女 ◆京都女子大学図書館と相互貸借試行開始（R3.4～） ◆京都大学附属図書館のK-Libnet参加試行開始（R3.6～） ◆京都外国語大学附属図書館と相互貸借本格実施（R3.6～）	
K-Libnet参加館等へ資料を運ぶ連絡協力車の効率的な運行を図ります。	○連絡協力車の安心安全な運行（週2回） ○次年度に向けた効率的な運行ルートの検討			◆連絡協力車を週2回運行 ▷運行回数 278回（計画通りの運行）（@264回） ▷相互貸借冊数 45,698冊（@39,104冊） ▷運行等についての意見聴取を市町村巡回時に実施（意見があれば次年度に向け検討）	
K-Libnetシステムの利便性の向上を図るため、大学・企業等との共同研究の取組を推進します。	○産官学プロジェクトの（書誌データ重複の解消）実装化への取組			◇重複書誌データ除去システムをK-Libnetに組み込むことについて設計	
2 市町村立図書館への支援					
市町村立図書館支援のためのリクエストに応じるなど、資料の充実を図ります。	○収集基準に基づいた貸出文庫の購入 ○リクエストによる資料の購入			◆資料の充実 ▷貸出文庫購入数 2,065冊（@1,591冊） ▷リクエスト資料購入数 147冊（@172冊） ▷本館市町村リクエスト資料購入数 84冊（@85冊）	5
市町村立図書館のニーズを把握するための会議や巡回訪問を実施します。	○市町村立図書館のニーズを把握するための会議や巡回訪問の実施			◆ニーズの把握 ▷市町村立図書館長会議開催 4/21 ▷市町村立図書館の職員巡回 10月（訪問）・2、3月（オンライン） ▷京都市立図書館との相互協力打ち合わせ 12/15	
風水害や新型コロナウイルス感染症等の経験を踏まえ、非常時における図書館運営に関する情報の共有や提供等を推進します。	○新型コロナウイルス感染症対策など非常時における府立図書館の運営及び対応の迅速な情報提供			◆新型コロナウイルス感染症対応 ▷緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う当館の対応について、その都度ホームページに情報を掲載	
市町村立図書館のニーズを踏まえた職員が参加しやすい研修（オンラインを含む）を推進します。	○市町村立図書館等職員研修の実施			◆研修実施 ▷図書館・読書施設等相互協力者初任者研修 5/27（参加24名） ▷レファレンス研修 ①初級 9/9（参加29名） ②中級 10/20（参加17名）	
K-Libnetシステムを活用し、市町村立図書館のレファレンス機能の充実を図る取組を推進します。	○市町村立図書館等からの相談対応			◆相談対応（@34件） ▷市町村レファレンス回答 32件 ▷学校等レファレンス回答 4件	

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績（12月末現在）	評価
3 学校支援の充実					
児童、生徒の調べ学習や学生の調査研究を積極的に受け入れます。	○調べ学習や調査研究の受け入れ及び研修機会の提供		◆京都産業大学附属中学校生徒の受入（12/10 2年生 3クラス 90名）	4	
調べ学習 や読書、図書館の展示等に活用する学校支援セットの充実を図ります。	○学校支援セット充実に向けた内容の見直し ○各学校へのパンフレット配布や校長会等への説明など利用促進に向けた取組		◆学校支援セットの充実 ▷絵本セットの種類・保有数の充実（5セット×3冊の追加と10セット×2冊の増加） ▷新学習指導要領に対応したセットの充実（「アログラミング」、「教師用セット」の追加など） ▷各学校等へのパンフレットの配布、校長会等への説明		
ホームページを活用した学校支援セットの利用促進を図る取組を推進します。			◆ホームページの学校支援セットのページ ▷「在庫セット数」や「貸出状況」の確認が可能に		
総合教育センターと連携した研修を実施するなど、学校図書館の運営を支援するための取組を推進します。	○学校図書館支援の研修実施		◆学校図書館の運営を支援 ▷総合教育センター主催の学校図書館教育講座（コロナウイルス感染症拡大状況のため中止）		
大学や企業等と連携して、全ての府立学校の蔵書をインターネットを通じて検索し、相互貸借することができる取組を推進します。	○府立学校図書館協議会との連携・協力による具体化の検討		◆WebOPACによる府立学校図書館支援 ▷府立校長会理事会で説明 6/15 ▷京都府立高等学校図書館協議会新旧合同理事会で説明 7/9		
4 子ども読書活動の支援					
子ども読書の日（4月23日）を記念する事業に取り組みます。	○第10回子ども読書本のしおりコンテストの実施		◆第10回子ども読書本のしおりコンテスト ▷作品応募数7,767点（②8,086点） 審査会 9/29 表彰式 11/7 ▷市町村立図書館・読書施設等での巡回展示 37施設（②34施設）	4	
「こどもの居場所づくり」「子ども食堂」に取り組む団体や「京都府教育委員会認定フリースクール」等の様々な民間団体と連携し、子どもの読書活動に寄与する取組を推進します。	○子ども食堂・こどもの居場所づくり実施団体への貸出 ○府教委認定のフリースクールへの貸出		◆ぎょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への貸出 11団体860冊（②15団体940冊） ◆府教委認定フリースクールへの貸出 1団体200冊（②2団体150冊）		
市町村立図書館が実施する児童サービス等に関する情報の収集と発信に努めます。	○ホームページやSNSでの積極的な発信		◆ホームページの「府内図書館等の行事一覧」から情報を発信		
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます					
5 多様な資料の収集・整理・提供					
毎年7万点以上の書籍が発刊される中、収集方針に基づいた多様な資料の収集を図ります。	○収集方針に沿った資料の購入		◆購入冊数合計5,817冊（②6,791冊）	4	
ビジネス支援等の課題解決や調査研究に役立つ資料の収集を推進します。			◆日本政策金融公庫との連携（図書の寄贈、連携展示 7/20～8/25）		
美術館コーナーを設置するなど配架の工夫を進め、限られた開架スペースの活用を図ります。	○美術館コーナーにおける新着図書の案内 ○空いた開架スペースの活用の検討		◆美術館新着コーナー（7回）No.62～68 ◆開架スペースの検討 → 「ビジネス支援」について検討中		
シナリオコレクションなど所蔵している貴重な資料の整備、活用を推進します。	○貴重資料活用の検討		◆テレビで紹介（関西テレビ「よ～いドン」11/10放映）		
6 十分な収蔵空間の確保による資料の適正な保存					
保存センターの役割を担う図書館として、書庫環境の充実に向けた取組を推進します。	●書庫問題に関する調査・検討 ○複本の除籍・移管		◆複本の除籍・移管 → 蔵書点検時(1/24～2/3)に作業。また、京都学・歴史館と調整中 ◆書庫問題に関する課題の整理	3	
収集した資料の損傷や劣化を防ぐ取組を充実するなど、適切な保存に努めます。	○寄贈AV資料の整理 ○修繕スタッフの育成・技術の継承 ●国立国会図書館主催の修繕研修への参加		◆修繕スタッフの増員（副担当を配置）		
市町村立図書館と連携して府内1冊所蔵図書の的確な把握と保存に取り組みます。	○府内1冊所蔵図書の把握と移管		◆12月末現在で府内1冊所蔵図書の保存実績はなし ◆市町村図書館・他機関からの貴重書等の寄贈（102冊） ・議会図書館 57冊 ・桂高校 6冊 ・京丹後市立あみの図書館 11冊 ・京丹後市立峰山図書館 13冊 ・あやべ図書館 15冊		

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績（12月末現在）	評価
<p>7 各種電子サービス等デジタル環境の整備</p> <p>国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」をはじめ、調査研究に役立つデータベースの充実、活用促進を図ります。</p> <p>電子書籍の導入に向けた取組を推進します。</p> <p>閲覧室にWi-Fi環境を整備するなど、調査研究に役立つ取組を推進します。</p> <p>テーマ別資料リストや図書リストのオープンデータでの提供等を推進します。</p>	<p>○各電子サービス利用促進のための広報</p> <p>○電子書籍導入に関する調査・研究</p> <p>●Wi-Fi環境整備に関する調査・研究</p> <p>○オープンデータの作成・提供</p>		<p>◆京丹後市WEB版資料を国立国会図書館デジタルコレクションに登録依頼</p> <p>◆近隣学生へのレクチャー</p> <p>◆京都新聞デジタルサービス等の検討</p> <p>◆令和3年度中に整備。令和4年4月下旬からサービス開始予定。</p> <p>◇令和4年度以降に検討</p> <p>◆京都府オープンデータカタログサイトでの掲載コンテンツの選定（令和4年度公開予定）</p>	4
<p>8 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実</p> <p>多様な図書に出会える企画展示等の実施、テーマ別資料の作成、ホームページを活用した図書の紹介に努めます。</p> <p>国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用したレファレンス業務の充実を図ります。</p> <p>国立国会図書館等が開催するレファレンス研修に積極的に参加し、知識技能の向上を図ります。</p>	<p>○テーマ別資料リストの作成</p> <p>○動画を使つての展示の紹介・アーカイブの検討</p> <p>○レファレンス事例をレファレンス協同データベースに積極的に登録</p>		<p>◆テーマ別資料リストの作成 17種 ▷展示アーカイブの試行</p> <p>◆登録件数 11件（②12件）</p> <p>◆第17回レファレンス協同データベース事業フォーラムに参加（3/3） ▷テーマ「続けること」が生み出すもの—継続的なデータ登録の工夫を探る—</p>	3
<p>9 来館者へのサービスの充実</p> <p>大学等と連携して、エントランス等における効果的な展示や案内の掲示を推進します。</p> <p>障害者や外国人等を対象にした図書館案内の充実を図ります。</p> <p>図書館カードによる館内サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。</p> <p>図書の貸出期間の延長等、情報通信機器を活用したサービスの充実を図る取組を推進します。</p> <p>京都市図書館との相互返却サービスの取組を推進します。</p> <p>市町村立図書館と連携して返却サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。</p>	<p>○年間計画を作成し計画的な展示を実施</p> <p>○外国語図書コーナーの内容を充実させるため定期的に内容を見直す</p> <p>●図書館カードの利用の検討（IDとして、利用者のページ以外にも複写の申込等に使えないか）</p> <p>○マイナンバーカードの利用促進</p> <p>●先進事例を参考としたキャッシュレスサービスの調査・研究</p> <p>○京都市図書館との「返却本預かりサービス」の継続実施（内容充実に向けた協議）</p> <p>●遠隔地返却の検討</p>		<p>◆1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施</p> <p>◆月毎・時事・連続講座関連展示の実施 30回（1F展示ケース（5回）、地下特設（5回）、エントランス等との連動企画（10回）、ミニコーナー（9回）、連続講座関連（1回））</p> <p>◆ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介 38回</p> <p>◆「外国語で読む京都と日本文化」コーナーの設置（4/23～常設 入替・追加）</p> <p>◆マイナンバーカードの利用 全登録者数26名 今年度新規7名</p> <p>◇令和4年度以降検討</p> <p>◆京都市と相互協力打ち合わせ 12/15</p> <p>◆市町村図書館に意向を確認（2～3月の職員巡回時に予定）</p>	4
<p>10 オンラインサービスの充実</p> <p>電子書籍をスマートフォン等情報通信機器により利用できる取組を推進します。</p> <p>大学等と連携して、価値ある資料のデジタルアーカイブ化の取組を推進します。</p> <p>電話やインターネット等によるレファレンスサービスや図書の複写サービスの取組を推進します。</p>	<p>●電子書籍に関する調査・研究</p> <p>○新たなデジタルアーカイブ化の検討と同志社大学との連携によるデジタルアーカイブ公開資料の効果的な活用の検討</p> <p>●HPでのオンラインサービスの整理・情報提供の充実</p> <p>●郵送複写の整理・充実（様式や申込方法の改正）</p> <p>●動画チュートリアルの検討</p> <p>●著作権法改正（図書館資料のメール送信等）への対応</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>2 3</p>	<p>◆令和3年度中に整備。令和4年4月下旬からサービス開始予定。</p> <p>◆同志社大学・京都府立図書館共同事業 京都府立図書館貴重書コレクションで公開</p> <p>◇令和4年度以降に検討</p>	4

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績（12月末現在）	評価
	インターネット等による府立図書館カードの作成や 図書の新着貸出の取組を推進します。	○図書郵送サービスの継続実施	3	◆図書の有料送付サービス ▷ 申込数 104件 発送冊数 157冊	
1 1 障害者サービス等の充実					
	大活字本やデジタイズ図書等の充実を図ります。	○大活字本、デジタイズ図書等の購入		◆大活字本の購入冊数 70冊 ▷ デジタイズ図書は購入可能資料が少ないため、サビエ図書館で対応	4
	対面朗読サービスの充実に努めます。	○対面朗読の継続実施 ○対面朗読の充実（Zoomによる対面朗読の検討）	3	◆Zoomによる対面朗読の環境整備（1月から試行）	
	サビエ図書館が所蔵する点字図書や録音図書に関する 書誌データベース（約70万点）を活用し、視覚障 害者等を支援する取組を推進します。	○利用促進用の案内の見直しと効果的な活用の検討 ●読書バリアフリー法に基づく京都府計画策定に向け た参画		◆「読書バリアフリー法」に基づく都道府県の計画についての情報提供（社会教育課） ◆「読書バリアフリー法」関連研修について市町村図書館へ情報提供 ◆「りんごの棚」市町村図書館への情報提供と当館設置	
	国立国会図書館が所蔵する学術文献録音図書DAI SYデータや視覚障害者等用データ（音声DAISY データ、点字データ等）を活用し、視覚障害者等を支 援する取組を推進します。	●アクセシブルな電子書籍等（音声読み上げ対応の電 子書籍、オーディオブック、テキストデータ等）の導 入の検討		◆国立国会図書館学術文献テキストデータの提供	
	京都ライトハウス情報ステーションや近隣文化施設と 連携して、共生社会を目指す取組を推進します。	○文化庁主催「CONNECT⇄」「DOMANI」事業へ の参加 ○他施設との連携の検討	2	◆文化庁・京都府立図書館主催「CONNECT⇄_and DOMANI@京都」を開催 （11/30～12/19）	
1 2 職員の資質・能力の向上					
	文部科学省、国立国会図書館、大学等様々な機関 が主催する研修・研究会等（オンラインを含む）へ の積極的な参加に努めます。	○図書館司書専門講座への講師派遣 ○文部科学省、国立国会図書館、大学等様々な機 関が主催する研修・研究会等（オンラインを含む） への積極的な参加		◆【文科省主催】 ▷ 6/25図書館司書専門講座事例研究発表 「図書館における新しい生活用式に対応したサービスの実践」 ▷ 8/31～9/3図書館長研修 ▷ 11/4読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修 ▷ (1/26図書館地区別研修) ◆【国立国会図書館主催】 ▷ 7/16国立国会図書館視覚障害者等データ送信サービス研修 ▷ (3/3第17回レファレンス協同データベース事業フォーラム) ◆【その他大学等主催】 ▷ 11/25～12/9全国公立図書館研究集会 ▷ (1/21～近畿公共図書館協議会研修)	4
	大学や市町村立図書館の要請に応じた研修の講師を務 めるなどの取組を推進します。	○司書対象の研修への講師の派遣 ○出前研修の実施（5回）		◆出前研修の実施 ▷ 本の修繕 南丹市立中央図書館 9/30（参加16名） 八幡市立八幡市民図書館 10/28（参加12名） 大山崎町中央公民館図書室 11/25（参加7名） ▷ レファレンス 木津川市立中央図書館 10/29（参加10名） ▷ 業務入門 京丹後市立図書館 10/1（オンライン参加21名・動画配信視聴回数86回）	

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績（12月末現在）	評価
	様々な機関と連携したタイムリーな研修を実施します。	○来館者の安全を確保するための実技研修・訓練の実施 ○SNS等、情報発信ツールの操作研修の実施		◆4/22・12/23文化財研修 ◆5/27国立国会図書館関西館の取組について ◆6/24ホームページの作成研修 ◆9/14広報行政研修（基礎編・応用編） ◆10/28地震火事を想定した避難訓練 ◆11/25CONNECT・DOMANI展（埴保己一群書類従）研修 ◆情報サービス課関係職員（18名）によるSNS操作練習と情報発信の実施	
III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します					
1 3 「知的な交流の場」の活用					
大学や企業等と連携した展示を行うことにより、多様な人が互いに学び合う取組を推進します。	○大学や企業との連携展示の実施	2	◆日本政策金融公庫連携展示 7/20～8/25		4
ナレッジベースの特長を活かし、NPO等民間団体と協働した取組を推進します。	○京都SKYセンターと連携し同センターシニア大学講座を開催	2	◆SKYセンターシニア大学講座の開催 11/10、11/24		
NPO等民間団体が行う企画を府立図書館の資料やデータベースを活用して支援する取組を推進します。	○サービスデザインチームによるNPO等民間団体や大学との連携事業の推進	2	◇コロナ禍のため12月末時点で実績なし		
大学と連携し、大学生による「図書館応援チーム（仮称）」が企画・実施する取組を推進します。	○当館におけるインターンシップ生（京女）、図書館実習生（同志社）、演習生（府立大）等を実施する大学生との意見交換、アンケートの実施 ○大学のカリキュラムとしての演習、図書館実習、インターンシップ等の受け入れ ●大学生が主催・運営するイベントの受け入れ	2	◆京都府立大学生によるキャリア演習 12名参加（R3.5～R3.9） ◆インターンシップ生（京都女子大学）13名が活動（R3.10～R4.3） ◆図書館実習生 6名（同志社大学）受入（R3.11.9～12、R3.11.16～19）		
1 4 府立図書館の見える化の推進					
ホームページやSNS等を活用した効果的な情報発信を図ります。	○ホームページによる効果的な情報発信 ○SNSの「インプレッション数」「いいね」「リツイート」等の分析による効果的な情報発信 ●動画による広報の検討	2	◆ツイッター投稿数：274ツイート、フォロワー数：911（うち今年度増分299） ◆ホームページによる情報の発信 ▷お知らせ33件、行事・イベント8件、展示27件、資料紹介38件		4
京都府の広報媒体の活用、報道機関への効果的な広報を推進します。	○京都SKYセンター情報誌「SKY」（隔月発行）に府立図書館の資料やコンテンツを紹介	2	◆京都SKYセンター情報誌「SKY」に府立図書館の記事を掲載（6回） ◆関西テレビ番組「よ～いドン ツウなら知っておきたい！～ロザンのうんちく～」で府立図書館を取り上げ（11/10）		
館内見学会の実施や旧館家具等を活用した歴史ある図書館を発信する取組を推進します。	○旧館家具の展示など京都府立図書館改築20周年記念事業の実施	1	◆館内見学会を毎月第3水曜日に開催（4月～6月、8月、9月はコロナ感染者拡大防止のため中止） ◆旧館時代の建造物（扉、階段手すり、天井飾り）を1階入口に展示（常設）		
公益財団法人 大学コンソーシアム 京都と連携し、大学生を対象とした広報を推進します。	●公益財団法人大学コンソーシアム京都と連携した府内大学への告知（案内資料送付等）		◇コロナ禍のため12月末時点で実績なし		
利用案内や調べ方案内のオープンデータでの提供を推進します。	●京都府オープンデータポータルサイトを活用したオープンデータによる資料提供の検討 ○オープンデータの作成		◇令和4年度以降検討・実施		
1 5 各種セミナー等の実施					
大学等様々な機関と連携した講座やセミナーの開催を推進します。	○大学教授等を講師とした講演会の実施	1	◆府立図書館改築20周年記念講座を実施 5回（詳細は下記のとおり）		

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ○令和3年度 ●令和3年度以降	重点	令和3年度実績（12月末現在）	評価
<p>図書館の持つ機能を生かした講座やセミナーに関連する 図書の展示、図書リストの作成等を推進します。</p>	<p>○改築20周年記念展示の実施（3回） ○改築20周年記念講座の実施（5回）</p>	<p>1</p>	<p>◆改築20周年記念展示（旧館時代の建築部材） ①『階段』6/1～8/1 ②『建築金物』8/3～9/30 ③『煉瓦』10/5～11/28 ◆府立図書館改築20周年記念講座 ①『室町時代の祇園祭』（河内奈良大学教授）7/31 ②『不思議の国の文字』（菱川京都外国語大学教授）9/25（中止）11/11動画上映会 ③『クルーガー文庫』（多田嵯峨野高等学校教諭）10/30 ④『全盲の学者 埴保己一の生涯』（温故学会齊藤理事長）12/4～（オンライン配信） ⑤『京の国宝建造物細見』（鶴岡京都女子大学教授）1/8 ◆改築20周年関連展示『京都府立図書館の資料保存～未来の利用者に届けるために～』10/1～11/24</p>	<p>4</p>
<p>京都府高等学校文化連盟と連携を図り、高校生が前庭等を活用して発表する取組を推進します。</p>	<p>○京都府高等学校文化連盟と連携した府立学校文化部の発表機会の提供</p>	<p>2</p>	<p>◆第38回京都府高等学校総合文化祭（美術・工芸、写真部門）最優秀賞・優秀賞8作品を展示（11/23～11/28）</p>	
<p>1.6 大学等研究機関、文化施設等と連携した取組の推進</p>				
<p>岡崎エリアの文化施設等と連携して、展示や図書リストの作成等に取り組みます。</p>	<p>○近隣文化施設との連携強化 ●岡崎魅力づくり推進協議会での連携事業の実施</p>	<p>2</p>	<p>◆近隣文化施設と連携強化 ▷ 京都京セラ美術館連携ミニコーナー「上村松園」7/17～9/12 ▷ 京都市勧業館「京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2021」記念展示「呪術の世界と京都」ミニコーナー 9/15～10/27 ▷ 岡崎エリア「『刀剣乱舞-ONLINE-六周年企画「現世遠征 都結び」』関連展示「刀剣の世界」ミニコーナー 11/19～12/26</p>	<p>4</p>
<p>岡崎エリアの文化施設等と連携して、様々な企画や事業の推進を図ります。</p>			<p>◆近隣文化施設実施事業のチラシ等の配架</p>	
<p>博物館・美術館・大学等と連携し、図書館の資料を活用した取組を推進します。</p>	<p>○府内の大学や研究施設等と連携した展示</p>	<p>2</p>	<p>◆京都大学総合博物館特別展示『木を遺す、木を伝えるー木製品の調査と保存ー』3/26～4/21 ◆京都外国語大学附属図書館連携展示『鎖国時代からの日露交渉資料と同時期のロシア文学』4/23～5/26 ◆改築20周年記念京都府埋蔵文化財調査研究センター連携展示『発掘された京都の歴史ー40年間の調査からー』9/29～10/27</p>	
<p>1.7 行政機関と連携した取組の推進</p>				
<p>京都府議会図書館と連携して、府庁等行政機関の要請に応える図書の貸出等の取組を推進します。</p>	<p>○京都府議会図書館のK-Libnetへの参加についての協議 ○京都府議会図書館と連携した効果的な資料提供について検討</p>	<p>2</p>	<p>◆京都府議会図書館のK-Libnetへの参加 8/31 ◆議会図書館行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス 複写1件 ◆府庁への資料の配送 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送 3課59冊（地球温暖化対策課6冊、文化政策室9冊、総合政策課44冊） ▷ 議会図書館143冊 ▷ 新たに機関貸出の申請のあった府の機関 3課（文化政策室、総合政策課、文化財保護課）</p>	<p>3</p>
<p>府庁等行政機関からの要請に応じたレファレンスサービスの取組を推進します。</p>	<p>●本庁各課とのオンラインによる連携（レファレンス・複写の受付） ○行政支援システム「各地域機関からのお知らせ」を活用した府庁行政機関への制度の周知 ●知事部局を含め、研修会場としてのマルチメディアインテグレーション室の提供</p>	<p>2</p>	<p>◆行政支援システム「各地域機関からのお知らせ」6件 ・「新着案内」を見るには！ 7/8 ・『歴史の中の植物 花と樹木のヨーロッパ史』こんな本、ありますNo91 7/31 ・府立図書館講演会（令和3年10月30日）10/19 ・【府立図書館・京都外国語大学 共催】講演会のお知らせ 10/21 ・11/10（水）関西テレビ「よ～いドン」で府立図書館を紹介 11/9 ・第38回京都府高等学校総合文化祭（美術・工芸部門、写真部門）最優秀賞・優秀賞を展示 11/19</p>	<p>3</p>
<p>京都府家庭支援総合センター等行政機関との連携を図り、図書の貸出等の取組を推進します。</p>	<p>○家庭支援総合センターへの貸出継続 ○他の行政機関との連携の検討</p>	<p>2</p>	<p>◆京都府家庭支援総合センターへの貸出 300冊</p>	